

インフォメイトしよ

▶ 公立昭和病院東京DMAT隊員の活動 ～日常の隣で発生する事故現場で、命を繋ぐ～

2026.Mar
Vol. **50**

▷▷ Topics: 通院支援アプリをご利用ください・・・P04 心電図検査でわかること・・・P05
市民公開講座を開催しました／人間ドックのご紹介・・・P06

- 〈病院の理念〉
一人ひとりの命と健康を守り、医療の質の向上に努め、熱意と誇りを持って地域社会に貢献することを目指します
- 〈病院の方針〉
1 地域医療支援病院として地域連携を推進します
2 科学的根拠に基づいた医療を提供します
3 急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
- 4 がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
5 信頼される優れた医療人を育成します
6 健全な病院経営に努めます



[栄養科より]

鉄欠乏性貧血の予防と食事

鉄分不足になるとヘモグロビンの量が減って、体内が酸欠状態になり、筋肉低下や疲労感、頭痛や気力の低下といった症状が起ります。これが、鉄欠乏性貧血です。

1日の必要鉄分量は、日本人の食事摂取基準(2025年版)より、成人の男性:6.5mg～7.5mg、女性:5.5mg～6.5mg、女性(月経あり):10.0mg～11.0mgです。

鉄分が多い食品は、ヘム鉄のレバー・赤身の肉・魚(かつお・まぐろ赤身)・あさりなどと、非ヘム鉄の小松菜・ほうれんそう・枝豆・納豆・豆乳などがあります。

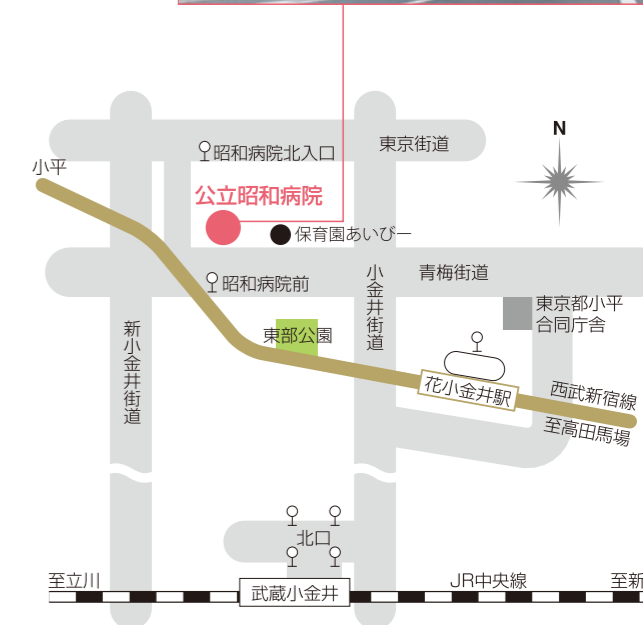
ヘム鉄は非ヘム鉄より体内の吸収がよく、非ヘム鉄は野菜・果物などのビタミンCと一緒に取ることで、体内に吸収されやすくなります。食事の際は、こまめな鉄分補給とバランスよく食べるのが大切です。

簡単に取り入れやすいメニューとして、焼き鳥のレバー入り野菜炒め、冷凍あさり入りシチュー、納豆・まぐろ赤身・モロヘイヤを混ぜたねばねば丼などで鉄分を補いましょう。



■ 交通案内

- 西武新宿線「花小金井」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車10分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車8分「昭和病院前」下車
- タクシー乗車約7分
- JR中央線「武蔵小金井」駅 北口下車
- 西武バス『武21』錦城高校経由東久留米駅西口行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車900m
- タクシー乗車約15分
- JR中央線「国分寺」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車37分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車30分「昭和病院前」下車
- タクシー乗車約20分
- 西武池袋線「東久留米」駅 西口下車
- 西武バス『武21』西団地経由武蔵小金井駅行き乗車23分
「昭和病院北入口」下車900m
- タクシー乗車約18分
- 西武新宿線「小平」駅
- 北口下車小平市コミュニティタクシー(ぶるべー号)
大沼ルート乗車15分「昭和病院」にて下車
- 南口下車西武バス『武17』昭和病院経由
武蔵小金井駅行き乗車10分「昭和病院」下車
- 南口下車タクシー乗車約9分
- 都営バス『梅70』青梅車庫前～花小金井駅北口「昭和病院前」下車



公立昭和病院

【発行】公立昭和病院
【編集】広報委員会

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1 www.kouritu-showa.jp
Tel:042-461-0052(予約専用ダイヤル:042-461-4896) Fax:042-464-7912



ホームページ



Instagram



日本医療機能評価機構
認定番号 JC2151号

公立昭和病院東京DMAT出動件数

令和3年度	5件
令和4年度	9件
令和5年度	12件
令和6年度	17件
令和7年度※	10件

※令和7年度は令和8年1月31日現在

令和8年(2026年)2月現在、医師15名、看護師27名、業務調整員(医師・看護師以外の病院職員)11名の53名で東京DMAT活動を行っており、東京都内の医療機関の中でも有数の隊員数となっています。

※DMATとは、Disaster Medical Assistance Team(災害派遣医療チーム)の略で、大震災等の自然災害や、交通事故等の災害現場に派遣される医療チームのことです。平成16年(2004年)8月、阪神淡路大震災の教訓を受け、災害発生現場での医療不在の状態を解消するために、全国に先駆けて東京都は都内にある災害拠点病院に東京DMATを設置し、公立昭和病院は平成19年3月に東京DMAT指定医療機関(都内17施設(当時)のひとつとして東京DMAT指定病院の指定を受けました。

都内で発生した災害で、救出に時間がかかると判断した場合、東京消防庁は東京DMATに出動要請を行います。大震災等の自然災害をはじめ、大規模交通事故や高エネルギー事故等の都市型災害、交通事故や人身事故、労災事故などの現場にも出動しています。



公立昭和病院東京DMAT隊員の活動

「日常の隣で発生する事故現場で、命を繋ぐ」

求められる活動現場

公立昭和病院東京DMAT

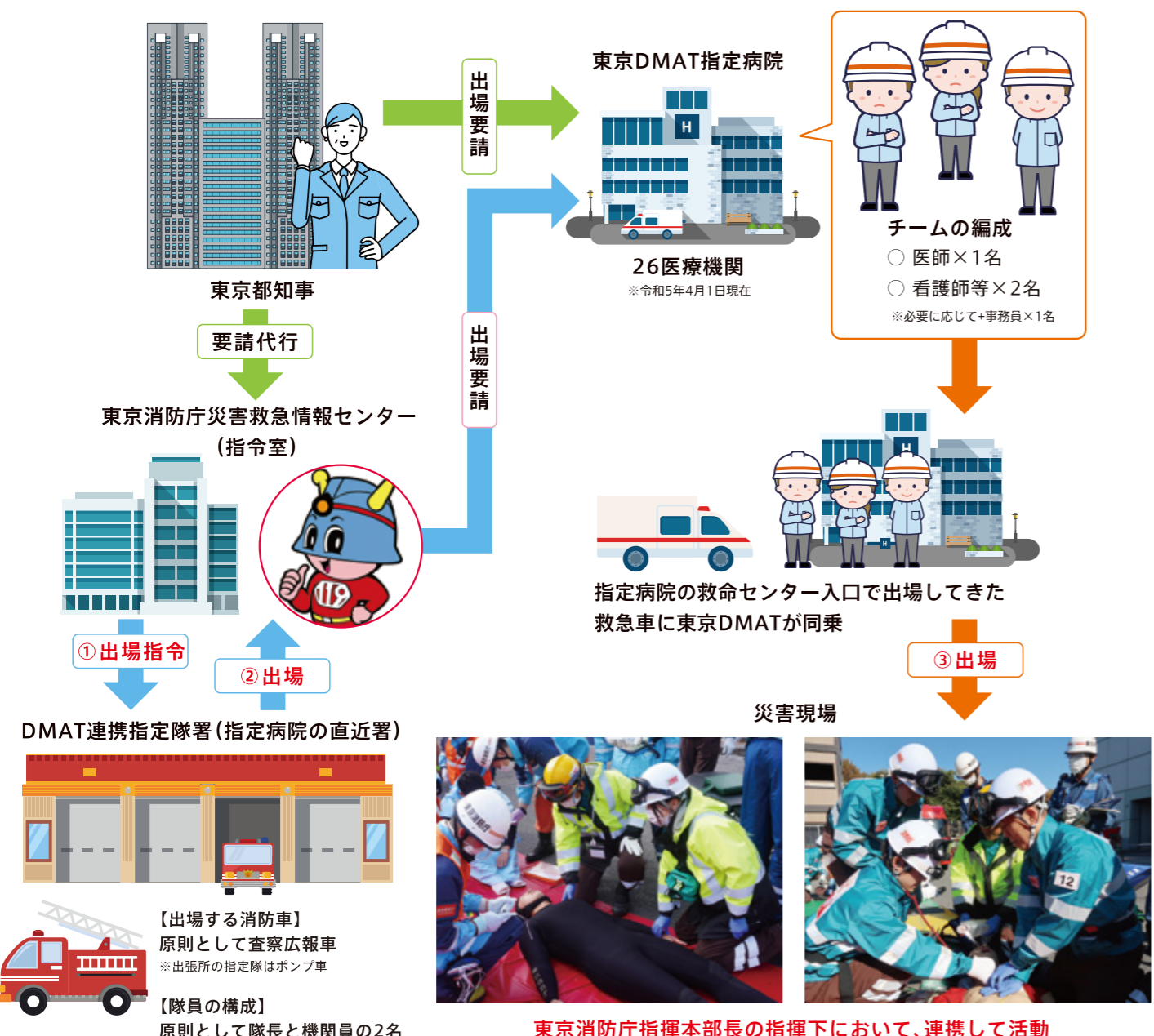
「救命救急センター長 医師」小島直樹 / 「看護部 看護師」平柳和奈
「臨床検査科 業務調整員」若林良 / 「総務課 業務調整員」井部昌彦

公立昭和病院東京DMAT隊(※)は、北多摩北部二次保健医療圏(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)を対象として、東京消防庁と連携して活動を行っています。

東京消防庁から東京DMAT出動要請があった場合、東京DMATを編成・待機させ、東京消防庁が派遣した東京DMAT連携隊とともに東京DMAT連携隊の専用車両(東京消防庁の広報車や消防ポンプ車等)に乗り、災害現場に出動します。

活動の原則として、東京DMAT隊は、東京消防庁の現場指揮本部長の指揮下において、消防隊等により安全が確保された範囲で活動を行います。これは、医療従事者である東京DMAT隊員の身の安全を確保するため、テレビドラマのように、危険の伴う現場に直接赴くのではなく、消防隊の管理のもと、安全が確保されたエリアで医療行為を行い、二次災害を防ぎながら医療活動を円滑に進めていきます。

〔東京消防庁東京DMAT連携隊と東京DMATとの連携活動の概略〕



東京消防庁指揮本部長の指揮下において、連携して活動

※東京消防庁ホームページより参照



DMAT要請から現場活動終了 そして次の準備へ

東京消防庁災害救急情報センター指令室(東京都立川市)から、近隣で発生した事故でDMAT要請基準に該当する事案に対して、東京DMAT指定医療機関に出勤要請がかけられます。

「DMAT要請基準」

- ① 負傷者等がおおむね20名以上発生した場合
- ② 重症が2名以上又は中等症が10名以上の負傷者等が発生し、迅速に医療機関に搬送できない場合
又はその可能性がある場合
- ③ 負傷者等が1名以上発生し、救助に時間を要するなど迅速に医療機関に搬送できない可能性がある場合
- ④ 東京DMATが出場し対応することが効果的であると東京消防庁警防本部又は現場の消防指揮本部長(最先着の中小隊長を含む。)が判断した場合

概ね、医師1〜2名と看護師1名でチームを組み、出勤の連絡を受けた東京DMAT隊員は、専用のユニフォームを着用し、災害現場に持参する呼吸管理物品や外傷治療物品、携帯用超音波検査機器などの医療機器、点滴、薬剤など多くの医療資器材を準備します。

災害現場では傷病者救出中に必要な医療を提供することもありますし、救出後に救急車等の中で医療処置を行うこともあります。事故現場や救急車内の活動は、病院の治療室で行うよりも狭く、人員も

て、東京DMAT隊が孤立することなく、効率的に活動できるために重要な役割を担います。

東京DMAT隊はすべての活動を自己完結できることが基本であり、資器材管理、移動手段、宿泊や食料の確保は、医療活動の質に直結します。

大規模災害時等で東京消防庁とは別に被災地に赴く場合、「自分の身は自分で守る」ことが鉄則になります。活動現場での医療行為に医師や看護師が注力できるか否かは、業務調整員次第と言っても過言ではありません。

東京DMATカー

東京DMATカー(災害派遣用車両)とは、東京DMATが災害時に派遣用車両として使用するための車両で、被災地での活動に必要な様々な装備品を兼ね備えているとともに、災害現場に必要な人員及び資器材を運搬することができます。

令和元年9月の台風災害では、千葉県内に出動し病院間の患者搬送を行い、令和6年1月の能登半島地震では、石川県に延べ9名をこの車両で派遣し、被災病院・クリニック・避難所支援を行いました。

公立昭和病院東京DMAT隊員は、普段の日常業務を行いながら、発生する災害や事故に一刻も早い対応ができるよう訓練や資器材整備を行い、地域の皆様が安心して医療を受けられるように、これからも取り組んでいきます。

少ない状況です。加えて、根本的な治療もできないので速やかに医療機関へ搬送する必要があります。患者さんに寄り添い、安心できる声かけを行いながら活動することも心がけて取り組んでいます。

現場活動後は、使用した物品の補充や整備を行い、次の出勤要請に速やかに対応ができるようにすることも大切な役割になります。

また、スキルアップを目的に東京消防庁の救急隊とも連携し、実技中心に救助・救急演習を実施する実践的訓練を東京DMAT隊員として積極的に参加しています。

災害現場で活動する 医師、看護師、業務調整員

東京DMAT隊員は、医師・看護師・業務調整員で構成されています。

業務調整員は、医師や看護師が安全かつ円滑な医療活動を行えるようにサポートする役割です。

具体的には、通信・連絡調整、情報収集・記録、ロジスティクス(資器材・移動・宿泊の確保など)があります。

通信・連絡調整では東京消防庁の現場指揮所や連携隊、場合によっては無線や衛星通信、EMIS(広域災害救急医療情報システム:Emergency Medical Information System)などを駆使し、災害現場や病院との連絡調整を行います。消防隊や自衛隊、その他医療部隊が入り乱れて活動する災害現場におい



訓練写真

背中のワッペン: 赤→[医師] 緑→[看護師] 黄→[業務調整員]



通院支援アプリ wellone(ウェルコネ)をご利用ください

通院支援アプリ wellone(ウェルコネ)を導入しました。

アプリのインストール

アプリストアで「ウェルコネ」と検索、またはQRコードを読み取り、アプリをインストールします。

診察券登録

基本情報の入力と、当院の診察券の情報入力と写真撮影を行います。登録後、10〜15分ほどでシステムとの連携が完了します。

クレジットカード登録(任意)

アプリ決済(後払い会計)をご利用の場合は、アプリにクレジットカードの登録を行います。

【機能一覧】

- ① アプリ決済(後払い会計)
事前にアプリにクレジットカードを登録することで診療費が自動的に決済されます。診察終了後、会計に並ばずに帰宅できます。
※ウェルコネから利用料が無料になりました。
- ② 診察待順案内
各科外来での受付後に、診察の順番が4番目以内に入るとアプリに通知が届きます。診察室から離れたところで待つことができます。
- ③ 次回受診情報
次回の受診予約がアプリに反映され、受診日の前日にプッシュ通知でお知らせします。
- ④ 処方箋情報送信
事前にアプリから薬局へ処方箋情報を送信することで、お薬の受け取りがスムーズになります。
※お薬の受け取りには処方箋の原本が必要です。

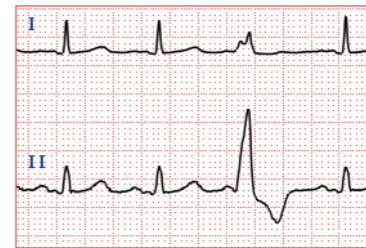
[利用ガイド]

臨床検査科 心電図検査でわかること

当院の生理機能検査室では、心電図検査をはじめ、超音波検査（エコー検査）や脳波検査など、さまざまな検査を行っています。その中で今回は、心電図検査についてご案内します。



図3 不整脈の心電図波形



心臓は全身に血液を送るポンプの役割を果たしており、心臓の筋肉（心筋）が規則正しく動くために微量の電気を流しています。心電図検査では、この電気信号を手首・足首・胸に付けた電極から読み取り、波形として目で見られる形にしています。これにより、心臓の拍動の速さやリズム（不整脈）、心筋の状態（心筋梗塞）、心臓の大きさ（心臓肥大）などがわかります。

「不整脈」

正常な心電図（図1）では、同じ形の波がリズムよく規則正しく並びます。不整脈では、このリズムが乱れ、間隔が不規則になったり（図2）、違う形の波が混ざって現れたりします（図3）。

図1 正常心電図波形

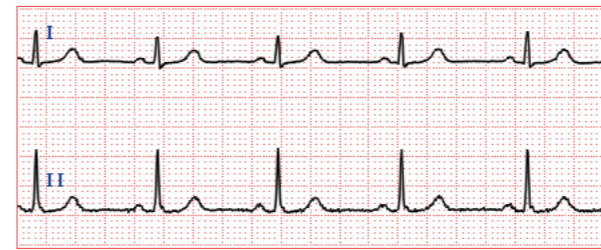


図2 不整脈の心電図波形



図4 心筋梗塞の心電図波形

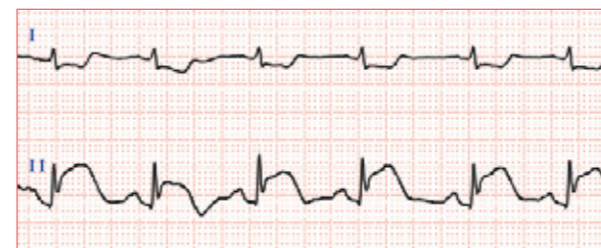


図5 心臓肥大の心電図波形



「心筋梗塞」
心臓の血管が詰まることで、心臓の筋肉がダメージを受けた状態です。その影響が心電図の波形に現れ、波の形などからどの血管に異常が起きているのかを予想することができます（図4）。

「心臓肥大」
心臓の筋肉が分厚くなった状態です。そのため、心臓からの電気信号が通常よりも大きくなり、心電図では高い波として現れます（図5）。

体に電気を流すわけではないため、痛みはありません。体の動きや緊張によって力が入ると、心電図の波形が乱れてしまうことがあります。そのため、できるだけリラックスして検査を受けていただけるよう声を掛けや環境づくりを大切にしています。



市民公開講座を開催しました

当院では、地域の皆様のがんをはじめとした様々な病気についての知識を深め、役立てていただけますよう、定期的に市民公開講座を開催しています。

去る2月21日（土）、第42回市民公開講座を小金井市の「小金井宮地楽器ホール（大ホール）」において、小金井市・小金井市医師会のご協力をいただき開催いたしました。当日は、白井亨市長より開会のごあいさつをいただき、340名を超える市民の方にお越しいただきました。

後日、講演内容を収録した動画を、当院ホームページの市民公開講座のページに掲載いたします。ぜひ、ご視聴ください。

講演内容

「膝がんの早期発見に向けて」
〜リスクが高いのはどんな人？〜



さいとう医院 副院長
齋藤 倫寛 先生

「元気な膝でいつまでも
快適な毎日を」
〜膝の痛み予防と治療〜



当院 整形外科 医長
佐藤 祐希 先生

今回の開催予定（入場無料・事前申込み不要）
日時 令和8年5月23日（土） 14時開場
場所 ルネこだいら

動画視聴はこちら↓



人間ドックのご紹介

当院の予防・健診センターは日本人間ドック・予防医療学会の「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受けている健診施設です。落ち着いた空間で、専門の医師による質の高い健診をご提供しております。



1日ドックコースをお申し込みの方のみ、オプション検査が利用できます。
内視鏡検査をご希望の方は、経口（口から）と経鼻（鼻から）をお選びいただくことができます（事前予約）。

健診についての予約・お問い合わせはこちら

お問い合わせ
ご予約は 042-466-1800
(予防・健診センター)
予約受付時間 平日9時～16時



※詳細はホームページでも確認いただけます。

基本料金

1日ドック 〔実施日〕 毎週月曜～金曜日 ※オプション可	50,600円 (税込)
半日ドック 〔実施日〕 毎週月曜～金曜日 午後	38,500円 (税込)
脳ドック 〔実施日〕 第1・4木曜、第2・3水曜	82,500円 (税込)
土曜日1日ドック 〔実施日〕 5月・8月・1月	61,600円 (税込)
土曜日半日ドック 〔実施日〕 5月・8月・1月	40,700円 (税込)
CTによる大腸検査 〔実施日〕 毎週水曜 午後	31,900円 (税込)

構成市住民対象プラン

構成市住民半日ドックプラン (通年) (オプション不可)	38,500円 (税込) → 26,950円 (税込)
構成市住民対象CTによる大腸検査	31,900円 (税込) → 22,330円 (税込)
1月～5月までの期間限定構成市住民1日ドックプラン (オプション不可)	54,780円 (税込) → 46,200円 (税込)

構成市：小金井市 小平市 東村山市 東久留米市 清瀬市 東大和市 西東京市
(※構成市住民料金は、ご加入の健康保険組合等によっては、対象外となります。)